

緑ネット通信 No.11

緑のネットワーク・まつど

代表：山田純稔

連絡先：渋谷孝子 TEL&FAX047-348-7977

年会費：1000円

観察学習会 残したい松戸の樹林① 「千駄堀*森の小径観察と クリーンアップ」

川上 将夫

クリーンアップの様子

いつもは観察会と学習会のセットであるが、今回は初めて森のクリーンナップ活動を加え、千駄堀樹林地内のゴミ収集を実施した。

杉林と混成林で形成された千駄堀地区の樹林地の中心付近は昼間でも薄暗い。人目が少ないためかゴミの不法投棄が後を絶たず、小径の散歩を楽しむ人たちは心を痛めている。私もその一人である。「今日はいっぱいゴミを集めてやるぞ」とやる気満々の参加者一同。八柱駅北口から森の中心地へまっすぐ進んだ。

ゴミ分別収集の仕方を説明をしたあと早速みんな作業開始。千駄堀町会長の吉野さんもわざわざ参加してくださった。

皆さん手際の良いこと。約1時間半の作業で集まったゴミは、燃えるゴミ30袋、資源や燃えないゴミ20袋、粗大ゴミ類10個、全部で50個。約トラック2台分の収穫であった。

ゴミ収集地の脇の斜面に大きなくぼ地があり、吉野さんによれば戦争中に爆弾の貯蔵所であった



とのこと。千駄堀にはこういう遺産がほかにもまだ残っている。

作業終了後、千駄堀会館へ向かう。途中相田ぶどう園の中を通させていただいた。相田さんの家はぶどう園に隣接した低地にある。ぶどう園のある台地から相田さんの屋敷をみると、それはまさしく里山そのもの。実に絶景であった。

学習会の様子

参加者の声

- ・きれいになって、ただの観察会よりも気持ちよかった
- ・フェンスの向こうのゴミが心残り
- ・こういう企画を広めるとこの辺では不法投棄しにくくなるかも
- ・いちごっこだが、それでも継続すると不法投棄は減ってくる

これからの計画

継続的な活動が是非必要という声が多いため、来年の春にでも森のクリーンナップをまた行うことにした。その際は地元の自治会とも連携して実施したい。

最後に後日談をすこし。

クリーンナップ活動日から4週間後、現地へ行ってみた。もう立派な粗大ゴミを含むゴミの山が出現していた。

まさしく「ゴミはゴミを呼ぶ」。学習会で出た「いちごっこだが、それでも継続すると不法投棄は減ってくる」を信じて、現場を後にした。



松戸の里やまボランティア 市川緑の市民フォーラムで事例報告

高橋盛男

昨年 12 月 11 日(日)、市川緑の市民フォーラムの例会に「松戸の里やまボランティアについて話してほしい」ということで呼ばれました。市川市が買い取った緑地(約 5ha)が、国府台 4 丁目にあるのですが、この緑地を一般に公開(つまり、公園利用)するという話があります。

緑の市民フォーラムでは、できるだけ現状のまま保全してほしいと考え、については「市民参加型の計画・管理ができないか」というところから「何か松戸に里やまボランティアなんてのがあってよ」という話になり、ほんでもって呼ばれたといういきさつです。

で、松戸の「里V(お、はじめて使う略号)」がどのようにできて、どんな活動をしているかを、松戸の緑の保全状況や「里V入門講座」のことなどを交えて話してきました。

市川市は、これまで「買ってでも緑地を残す」という姿勢できていて、そこそこの緑地を確保しているのですが「里V」のような市民活動はないようです。そのせいか、けっこう熱心に話を聞いていただいたのですが、少し複雑な心持ちになりました。だって、松戸は樹林地の保全が進まないから、何か手がかり、足がかりはないかというので市民が「里V」をはじめたわけですからね。

「松戸が先進事例だ」といわれてちょっといい気分がしたけども、そうそう喜ぶわけにもいきませんわな。「協働は大事だけれど、樹林保全の制度づくりと両輪でなきゃ困るよね」という話が、フォーラムの意見交換でも出ていましたが、ほんにそこが大きな課題ですね。

とまれ、市川の皆さんは、4 丁目の樹林を市と市民の協働で維持管理していく方策を検討し、市に提案したいとのことでした。仲間が増えるかな? これからの展開が楽しみです。

観察学習会・残したい松戸の樹林⑫

「高塚新田の樹林観察」

～市川市との市境の斜面林をゴミ拾いしながら観察しましょう～

2月12日(日)

小雨決行

- ・集合 JR武蔵野線 東松戸駅改札口 9:30~14:00
- ・内容 午前は樹林の観察とゴミ拾い。午後は交流会
- ・持ち物 弁当、飲み物、軍手
- ・参加費 無料
- ・雨天の場合のお問い合わせ 080-5495-4518(鈴木)
※会員の方は学習会終了後定例会をいたします。

今回は広報まつどには載りません。どうぞお誘いあわせてご参加ください

緑ネット 今後の活動予定

- 1月19日(木) 19:00~21:00 定例会 幸谷公民館にて
- 2月12日(日) 9:30~14:00 観察学習会 (上記参照)
- 3月16日(木) 19:00~21:00 定例会 幸谷公民館にて

緑ネット通信 No.12

緑のネットワーク・まつど

代表：山田純稔

連絡先：渋谷孝子 TEL&FAX047-348-7977

年会費：1000円

観察学習会 残したい松戸の樹林⑫ 「高塚新田の樹林観察」

川上 将夫

クリーンアップの様子

昨年11月に続き、今回も観察会にクリーンアップ活動を加えて、高塚新田の樹林地沿いの道路のゴミ収集を実施した。高塚新田の樹林地は松戸市と市川市にまたがる広い地域で、斜面林や谷津田もまだ残されている。地元で活動している方々の案内で東松戸駅から現地に到着したあと、早速ゴミ拾いを始めた。樹林地内を通る裏道は狭い割には車の通りが多く、窓からポイ捨てが絶えないということである。そのため樹林地の多くはフェンスがしてあり、道と森が分断されているのはちょっと悲しい。

作業中に散歩をされている方から「ご苦労さんです。私も散歩がてらによくゴミ拾いをしています」と話しかけられた。地元活動グループが立てた「市民がゴミ拾いをしています」という看板が樹林地内に見られたが、多くの人に日ごろの活動を知ってもらうことは大切なことだ。1人でやるのは孤独だが仲間が増えれば楽しい。

当日の成果は、燃えるゴミ6袋、プラスチック8袋、缶2袋、燃えないゴミ1袋、であった。地元の方々が継続的にゴミ収集を行っているためなのだろう、私の予想よりは少なかった。やはり継続こそ力なり。



作業終了後、谷津田地区の観察を行った。谷津田は埋め立てが進み資材置き場になっているが、それを囲む両側の斜面林はまだよい状態で残されていて、とても美しい。こういう景観はおそらく市内ではここが最後ではないだろうか？市川側の斜面林はすでに市川市が買収したそうであるが、松戸市側の斜面林は私有地のままである。もしここも松戸市が買収して、両側が保全されることになったら実に素晴らしいことだ。

斜面林でコゲラとメジロを観察していたら、エナガもよってきて私たちを歓迎してくれた。なかなか見られない鳥であり今回の収穫であった。

学習会での参加者の声

- ・森にはアラカシ、シラカシと、残念ながら“チラカシ”もまた目立った
- ・ゴミが気になることは今までもあったが、初めて活動に参加して良かった
- ・市境が一番問題の場所で、行政が手をつなげばうまくいくのではないか
- ・ゴミ拾いやってまーす！というアピール効果に軍手、ゴミバサミ、腕章、ゼッケンの他、のぼりや名札なども有効では。
- ・ポイ捨てについては、今日ゴミ拾いをした道路周辺だけでなく、フェンスの向こう側の樹林地を含め、素敵な散歩道になれば防止効果があるのでは。

ミドリネット今後の予定

3月16日(木)19:00~21:00 定例会
幸谷公民館にて

4月9日(日)9:30~14:00 観察学習会
八柱駅集合

5月19日(木)19:00~21:00 定例会

みどりの議会だより

武笠 紀子

この3月議会に「松戸市緑地保全基金条例」が提出された。

第1条：松戸市競輪事業の収益金等を活用して、本誌の市街地及び市街地の周辺地域に残された貴重な樹林地を市民共有の財産として保全し、次代に継承するための必要な資金に充てるため松戸市緑地保全基金を設置する。

「緑地保全」という目的について言えば従来より私が主張してきたことであり、歓迎したいところだが、「競輪事業の収益金等を活用」という基金の出所をはっきりと条例上に明記していることに疑問がある。競輪事業はこの5年間収益を市の会計に出さず、内部保留してきた。本年度千葉県が競輪事業から撤退して松戸市が前面開催を引き受けたが、県が後を任せる松戸市に10億円の資金を出したので、競輪事業の基金を作った。後始末用の資金が確保されたので、内部保留してきた2億4千万円を使って2つの基金を設置する。他の一つは「松戸市安全で安心な街づくり基金」である。

競輪の収益が松戸の財政に寄与してきたことを否定しないが、今までは一般会計に繰り入れ、全体的に使われてきた。「安心安全」「緑地保全」という目的の正当性で廃止論が高まってきた競輪の正当性を確保しようとしているのではないか？緑地保全には「ミニ公募債」のような市民の思いが集まった資金を使って欲しいと思う。

根木内歴史公園開園

根木内歴史公園プロジェクト 三嶋

4月22日に開園します。

この公園は、「歴史を学び文化教養を広げる場」「身近な自然とふれあえる場」として、多くの市民に愛され、広く活用されることが望まれています。

根木内城は中世の城郭の典型であり、土塁・空堀・郭・土橋等の遺構が残された高城氏築城の城郭の一部を歴史遺産として保存することになりました。城郭の周囲には常緑広葉樹を中心とする緑豊かな樹林地、隣接する上富士川低地には自然豊かな湿地帯があることから「歴史とみどりと水の調和」をテーマとしています。北小金駅から徒歩約10分。駐車場、トイレを造り、案内板を設置し、湿地部には木道、園内には散策路が整備されています。湿地帯にトンボ池を掘っており、トンボやカエルが生息し、野鳥が飛来する自然豊かな公園にすることを期待しています。

公園の維持管理は公園緑地課の管轄ですが、市内ボランティア保全団体の有志で構成する根木内歴史公園プロジェクトとまちづくり交流室テント小屋が参画し、行政と市民のパートナーシップで取り組みを開始しました。今後は、近隣の方々が中心となって、「史跡の案内」「樹木の保全」「湿地の保全と回復」という活動に積極的に参加してもらいたいと考えています。

<開園前後の計画>

1. ヨシや竹の伐採作業：2～3月(4回実施)
2. 自然観察会：3月28日10～12時
3. 史跡講演会：3月28日13～15時
4. オープニングイベント企画：4月22日(土)
竹やヨシのクラフトづくりを実演
5. 根木内歴史公園ボランティア体験講座の開催
5～6月(全5回の講座を企画中)

観察学習会・残したい松戸の樹林⑬

「千駄堀＊森の小径観察&クリーンアップ」

千駄堀地区の樹林は21世紀の森とつながる豊かな自然が残る場所。市民に潤いを与える大切な緑であるばかりでなく、生き物にとっても貴重なエリアと言えるでしょう。

森は人目につきにくいことから不法投棄が後を絶ちません。森の自然を観察しながら、緑を大切に思う市民の力で森をきれいにしませんか？

4月9日(日) 小雨決行 ※会員の方は学習会終了後総会をいたします。

- ・集合 新京成線八柱駅北口 9:30～14:00
- ・内容 午前は千駄堀地区樹林の小径観察とゴミ拾い。午後は学習会
- ・持ち物 弁当、飲み物、軍手 ・参加費 100円(保険料)
- ・雨天の場合のお問い合わせ 080-5080-9910(渋谷)

緑ネット通信 No.13

緑のネットワーク・まつど

代表：鈴木 護

連絡先：渋谷孝子 TEL&FAX047-348-7977

年会費：1000円

観察学習会 残したい松戸の樹林⑬ 「千駄堀＊森の小径観察 &クリーンアップⅡ」

4月9日

藤田 隆

「森の自然を観察しながら、緑を大切に思う市民の力で森をきれいに」と昨年始めた「小径観察&クリーンアップ」は今回で3回目。11月にも同じ千駄堀地区をクリーンアップした。ウォーキングの方が作業する私たちに感謝の言葉を掛けてくれたほか、「共感する」と活動に参加する方も現われたりと、相応の反響が感じられた森であった。今回も町会にご協力をいただき「小径観察&クリーンアップ」を行った。

9時30分、八柱駅北口にはゴミ拾い用にと、自前の火バサミを背負った準備万端の方も混じる21名の皆さんが集合した。コアラテレビ取材の方も同行した。朝から天気は快晴だが、時折、強い風が吹き体温が奪われていった。寒さが不安なのか、使い捨てカイロを探す話題で一際盛り上がり出発した。駅前から北へと向かい、千駄堀の全貌が見渡せる駐車場で住宅地と緑地区を一望し、住宅開発によって緑の地区が減っている様子を確認し



2006 04 08 10:31



始まり、また森がひとつ消えたのを目の当たりにし、「からずが森地区」へと足を運んだ。

森に入った途端、「テイカカズラ」を発見。藤原定家からの命名であること、開花の時期は6月で、花からはスイカズラのように甘い香りが虫を寄せることの説明を受けた。ネットで調べたところによると、謡曲「定家」に由来するらしく、皇女を慕った藤原定家が皇女の墓に葛蔓となって、まとわりついたところから来ているとあった。歌詠みの藤原定家の恋にける情熱が植物に乗り移った「テイカカズラ」に思いを馳せ、森の奥へ進んだ。

森には道路を隔てる緑のネットが設置され、その奥にゴミが散乱する状態が続いていた。道路の分岐点で二手に分かれ、収集が始まった。時折、車やバイクが音をたてて通り過ぎ、周辺住民にとって生活道路であることが感じられた。そのためかウォーキングする男性、散歩する親子から「ありがとうございます」、「ご苦労様です」と声がかかり、「こんにちは」と挨拶を返しながら、ゴミ集めにも力が入った。一人でゴミ収集はとても無理、こうしたグループでやってこそできるのだと感じながら作業を続けた。

谷地の底からネギ畑へあがった台地で、ゴミ収集の傍ら、コブシの芽、オオシマザクラ、ゴヨウ



アケビ、ミツバアケビを観察した。こぶしの芽は硬い芽を一枚一枚脱いで、葉を広げる様子が観察できた。オオシマザクラは通常より大輪の花を咲かせ、見るものを一際感動させる桜であった。アケビは雌花と雄花が並び、妖艶な魅力の雰囲気中心惹かれるものがあった。

ゴミ収集を終え、集積場所に集めた。燃えるゴミが8袋、その他プラスチック8袋、金属1袋、有害ゴミ1袋、缶類3袋、ガラスなど瀬戸物2袋、危険物1袋、一斗缶（コールタール様のもの）1つ、バイクフレーム一式、ベッド用敷板2枚、カラーボックス引き出しつき1個であった。11月に収集したためか、ゴミの量は少なくなっているものの、確実にゴミを投棄している輩がいるようだ。

小径を抜け、松戸第六中学校隣にある湧水広場で昼食をとった。町会の湧水広場を管理する世話役の方が、広場は綺麗にすると壊される「イタチゴッコ」のようだと話しながら、いそいそと湧水池の土手を整えていた。広場から斜面林を見上げるとシラカシ、クヌギ、ケヤキなどが新芽を伸ばし、濃淡に彩られた緑がゴミ収集で疲労した体を癒してくれるようだった。樹林地が変わらないことを願いながら森を後にした。

「小径観察&クリーンアップ」を終えて八景台町会集会所に集まった参加者から、ゴミ収集の作業が通行する人から分かるような「旗、のぼりがほしい」、森の中にあるゴミを収集したいので「所

有者の了解を得たい」、「所有者とともにゴミ収集について考えるテーブルにつける方法はないか」などの意見が出され、森のゴミ問題についてはそれぞれ共通の思いに結実しているのではないかと自分勝手な印象を持った。

4月28日

緑と花のフェスティバル

川上得夫

毎年4月29日に21世紀の森と広場で行われるこのフェスティバルに、今年も「緑のネットワーク・松戸」のほか、「金ヶ作の森を育む会」、「里山応援団」が参加した。



展示ブースでは、活動紹介のパネル展示、竹細工や鈴蘭の即売会、そして竹とんぼ作りの実演・実習が行なわれた。竹とんぼ作りコーナーには朝から終了時間まで親子連れがひっきりなしに訪れ、インストラクターは昼ごはんを食べる暇もないほどであった。子供たちの熱心のまなざしの前には空腹も何のなんのそのである。

また緑推進委員会主催のスタンプラリーに、グループとして応援をしたが、こちらも開始から終了までずっとてくてこ舞いの忙しさであった。

気の早いことに来年への提案もすでに出ているが、また多くの子どもが集まり、一日大いに楽しんでほしいものである。



レスター・ブラウン氏「関さんの森」へ

川上得夫

世界的に有名な環境問題の研究者・啓発活動家であるレスター・ブラウン氏。「プランB」「エコ・エコノミー」「地球白書」等の著書で知られている。ブラウン氏から学び、これからの活動につなげていきたい……。そんな思いで、今回のイベントは「レスター・ブラウン氏を迎える会」により企画された。そして5月21日、ふだんはグローバルな視点で環境問題の解決について提言・活動しているブラウン氏が、きわめてローカルな松戸の「関さんの森」を訪問され、講演が行われた。参加者は約80名。



当日はこれ以上の好天はないという素晴らしい天気。

森の中は木の葉を通したやわらかい日差しと、さわやかな風。そしてバードウォッチングが好きだというブラウン氏を歓迎するかのように、エゾムシクイがよくさえずる中での講演となった。ちなみにエゾムシクイは市内ではめったに見られない。

さて主催者挨拶に続き、4名の方々より会の活動がブラウン氏や参加者に紹介された。そしていよいよブラウン氏からの講話となった。

話の中では森の保全にかかわるいろいろな具体例が紹介された。例えば；

*中国では樹木の伐採により洪水が起き、何兆円という大きな損害が出たためその後伐採が禁止になった。開発より保存したほうが利益が大きいことがわかったためであったこと。

*アメリカ・ペンシルバニア州の森に隣接した病院では、その緑が患者の治療に役に立っていること。

*緑の多い住宅地は不動産の価値が高まること 等々。

さらに氏の話は「自然がもたらすサービスはどんな物資よりも価値があり、それは立派な社会資本であり、保存することが健康的な生活をおくるために大切である。そしてそのためには経済の仕組みも変える必要がある。」と続き、最後は「小さな森であっても、たくさん子どもたちが訪れるこの森は、教育の場として重要な機能を持っている。この森にかかわっている人たちに敬意を表します。そして次の世代の人たちも感謝するでしょう。」と結びました。



ブラウン氏はとても表情が柔和で話も穏やかではあるが、科学的分析と危機意識をもとにした考えは強い説得力をもち、私たちの胸に伝わってきた。

最後に、住宅地に囲まれた森を守ることは大変であるが、改めて「関さんの森」を守ることの意義を再認識した。私たちの活動の方向性について貴重なお話を伺えたことを心より感謝したい。

今回のイベント開催につきご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

総会報告**山田純稔**

緑ネットの定例総会は、4月9日に観察・学習会後（千駄堀地区のクリーンアップ）におこなわれました。総会議案は、事業報告・計画、決算・予算案など、すべて承認されました。また、役員については、代表・副代表等が交代した他、以下のメンバーが承認されました。代表には、私（山田）が一步退き、鈴木護さんをお願いしました。これからも、緑ネットをよろしく願います。

代表・・・鈴木護（新任）

副代表・・・川上将夫（新任）、山田純稔（新任）

会計・・・田中玉枝、山田幸子（新任）

監査・・・高橋盛男、北山繁

運営委員・・・渋谷孝子、武笠紀子、東由美、野口功（新任）

さて、総会報告をかねて、一言。

総会資料の中にも記しましたが、『緑ネット』は2000年に発足しました。当初、月に1度の『例会』では、少人数で情報交換をしたり、時には行政の方や近隣の自然保護関係の人たちを招いて、学習会をしていました。『松戸市緑推進委員会』の設置にともない、公募委員にみんなで応募したこともありました。

以来、複数のメンバーが緑推進委員になり、緑の保全を主眼とした立場で活動してきましたが、最近では『里山ボランティア入門講座』の実施が大きな転換期だったと思っています。この講座の実施をきっかけにして、『里やま応援団』『八ヶ崎の森を育む会』『樹林地会議』『囲いやま森の会』『根本内歴史公園プロジェクト』『三樹の会』などが次々と誕生し、活発に活動をはじめています。確実に、松戸市の樹林地を大切に、残したいと思う人の環が広がっています。

残された松戸の緑は貴重な財産ですが、緑を大切にする人の環も財産です。この、人の環の財産は、お金よりも、熱意や行動力でいくらでも増やすことができます。ゆくゆくは、人の環が松戸の緑を残すことにつながるものと信じています。

観察学習会・残したい松戸の樹林⑭**「よみがえった国分川の自然」**

国分川は氾濫で住民を悩ませ、また生活排水のためドブ川と化していました。市民と行政の協力のもと、川幅を広げて自然が回復するような工法を取り入れて修復されました。それから2年。さてどんな自然が戻ってきているでしょう？

7月9日(日) 9:30~14:00 小雨決行

- ・集合 JR武蔵野線 東松戸駅改札口
- ・内容 徒歩で国分川に移動。改修区間を観察。午後は室内にて学習会
- ・持ち物 弁当、飲み物、雨具
- ・参加費 300円（会員100円）
- ・問い合わせ 090-2935-9444（高橋）

**ミドリネット
今後の予定**

6月10日(土) 17:00~19:00
定例会 テント小屋（市役所向かいプレハブ2階建て）にて

定例会の場所と時間が今までと変わりました。情報交換と会の今後について話し合います。どなたでもお気軽にご参加ください。

7月9日(日) 観察学習会 14
「よみがえった国分川の自然」

緑ネットワーク通信 No.14

緑のネットワーク・まつど

代表：鈴木 護

連絡先：渋谷孝子 TEL&FAX047-348-7977

年会費：1000 円

7月9日観察学習会 残したい松戸の樹林⑭ 「よみがえった国分川の自然」

川上 将夫

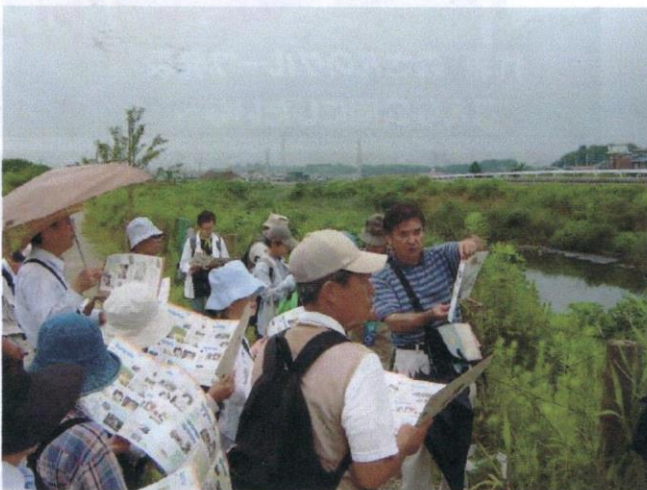
観察会の様子

緑ネットの観察会は通常樹林地を中心に行っているが、今回は川を中心にということで、昔の姿を取り戻しつつある国分川の観察会となった。

国分川は松戸市の東部（河原塚・和名ヶ谷・紙敷）から市川を流れて真間川に合流している川で、利根川水系一級河川である。面白いことに河原塚から上流では春木川と名前が変わる。

さて当日朝は小雨の中のスタートとなったが、参加者27名が元気に東松戸駅を出発した。途中立ち寄った春日神社は川の南側丘陵地帯にあり、参道の両側に広がる真竹の竹林が見事であった。

丘陵地帯を抜けて畑地・草地をしばらく歩くとようやく国分川についた。川原にはいろいろな植物がうっそうと茂り、水の流れはゆっくりと蛇行している。またアオサギやカルガモが早速観察できた。



9年前より河川工事が進められているが、松戸市河川清流課やワークショップ参加者から、その経過や現状についての説明があった。まとめると、①



浸水被害を軽減するため河川工事が行われるが、国分川での工事は「治水」のほか「環境」を重視し、かつ市民参加による多自然型の川づくりを目指した。②その為例えば護岸用の鋼矢板を取り払い、川幅を広げ緩やかな土手を設け、できるだけ昔の川の姿に戻した。植物を植えるのは控え、川の流れも自然に任せた。③水質は残念ながらもまだ相当悪い。④市民参加では、小中学生が非常に多い、等。

大人だけでなく、子供自身が考え、提案し、一緒に楽しみながら川づくりをするなど、今までは到底考えられなかったことがここでは実現した。実に驚きであり、画期的だ。その結果、鳥や昆虫が集まり、絶滅危惧種の植物（ミクリ）までも再生した。植物が増え、生き物が集まり、そして多くの人がここにきて川を楽しんでいる。

開始からはや9年、来年でこの工事も終わる。さて本当の課題はこれからである。とりあえずよみがえったこの川をこれからどのように生かしてゆくか、多くは私たち市民に委ねられている。特に未来を背負う



ミクリ

多くの子どもたちが、これからもこの川にふれ、楽しみ、そして大人たちと共に川づくりに参加し続けて欲しいものである。

学習会での参加者の声

- ・もっと市民にPRしては。(あまりここは知られていない)
- ・松戸にこんな豊かな自然が残されていることに感動した。
- ・子どもたちのためにも自然ミュージアムのようなものを作ってはどうか。
- ・一度人に見放された川を、もう一度身近な川として再生するのは大変だと思った。
- ・夏のためか、においがかなり気になった。
- ・水質がポイント。きれいにして人がより近づき易いようにしたい。

**根木内歴史公園サポーター
通称<根っ子の会>**

三 嶋

5～6月 全5回のボランティア体験講座を開催し、受講者は27名で、ボランティア参加意欲が高い印象があり、グループワークの発言も活発でした。この講座は公園緑地課と樹林地保全会議・緑のネットワークまつど・松戸まちづくり交流室テント小屋の協働プロジェクトで推進しました。7月には、ボランティア活動の会を設立しました。

会の名称： 根木内歴史公園サポーター
通称： 根っ子の会

代表には、森 恭二さん(根木内)が就任され、保険加入や松戸市との協定書締結を行って、8月から作業活動を開始しています。

この公園には、歴史遺産・緑の拠点・市民の憩いと学習の場などさまざまな顔があります。市民と行政のパートナーシップによって、トンボやカエルが生息し野鳥が飛来する自然豊かな公園にすることを望んでの活動です。

定例活動日は、第1&3水曜日 9～14時
調査観察会は、毎月不定期に開催しています。

夏休み工作づくりのイベントを8月22日に開催し、25名の参加者で楽しみました。

<ボランティア体験講座の内容>

1. 「歴史公園とは」の講義後、「歴史公園を歩く」
2. 田中利勝氏の「公園内の自然を知る」、「こんな公園にしたいな～」のグループワークと発表、大谷口歴史公園をみるツアーと懇親会
3. 「やってみよう！樹林・竹林の体験作業」、バスツアーで先進事例の「下田の森の見学」
4. 「やってみよう！湿地の作業」、「楽しい竹細工・ヨシズのクラフトづくり」
5. 「みどりの保全ボランティア団体との交流会」、「これからの根木内歴史公園と私」のグループワークと発表、修了式、小金の歴史と自然を散策ツアーと懇親会



代表 森さんのグループ発表
こんな公園にしたいな～



夏休み竹細工づくり

緑のネットワーク情報

緑の基本計画検討プロジェクト

松戸市では、緑政の元となる「緑の基本計画」の見直しを進めています。これにともない、樹林地の保全活動に取り組んでいる私たちも、積極的に提案を行っていかうということで、このほど当プロジェクトを発足させました。作業は「緑の基本計画検討班」を中心に進め、経過は緑ネットMLやこの緑ネット通信でお知らせいたします。

問い合わせ：047-367-2857 (高橋)

E-mail: forest-t@w2.dion.ne.jp

千駄堀を守る会

定例観察会は、毎月第四日曜日に開催。9時に「21世紀の森と広場」公園中央口に集合してお昼までおこなっています。

9月は特別に「学習会」を企画しました。千駄堀のこと、生き物のことなどを発表しあい、学びあいます。9月24日(日)9:30~11:30 木もれ陽の森・アウトドアセンター管理棟で開催。どなたでも参加できます。

(山田)

関さんの森を育む会

住宅地に囲まれた森を守るのは大変。皆さんの力を貸してください。

定例作業日は、毎月第三日曜日(10時から)。午後ピオトープ公園の作業をしています。10月からは会でうどんも用意します。

(山田)

江戸川の自然環境を考える会

9月24日(日)

運河から江戸川に出て初秋の川をよく観察しよう

集合場所:JR常磐線松戸駅 西口広場 9:00am

東武野田線 運河駅 9:50am

弁当、交通費等持参。参加費 500円。

10月22日(日)

葛西神社の巨樹と江戸川・じゅんさい池(予定)

(鈴木・田中)

金が作の森を育む会

◆定例作業日

9月10日(土) 10:00~12:00

10月8日(土) 10:00~12:00

10月までは、主に伐採した竹の整理を行います。個人所有の樹林地なので、場所を公開していません。初めて来られる方は下記へ連絡をください。

問い合わせ：047-367-2857 (高橋)

里やま応援団 (1期)

八ヶ崎の森の定例活動日は第二と第四水曜日の10時から12時。

次回は9月13日は八ヶ崎の森

次々回の9月27日は「利根運河を歩く」運河駅改札前9:20集合、15時頃解散、弁当、飲料水、スニーカー、女性はズボン。見所は秋の草花と美しい景観市民のみなさんのご参加歓迎です。

問い合わせ先は電話047-388-0200 (深野)

困いやま森の会 (2期)

猛暑の8月は作業をお休みし、チェーンソー・刈払機の講習と、東大植物園日光分園の観察会を行いました。レンゲショウマ、キレンゲショウマの可憐な花が素敵でした。

秋には、外部の受入れもできるよう、作業は大車輪です(ホントカナ?)

定例作業日：第1日曜日・第3火曜日(野口)

三樹の会 (3期)

三樹の会は、誕生10ヶ月を迎えました。メンバーの少なさ、フィールドのなかなか決まらなかったことがありましたが、根本内開園のお手伝いを始め、8月12日の金が作の作業まで、少しは成長し逞しい汗が流せるようになったとささやかながらの自負をしています。また、いろいろな場に参加して、緑のボランティアへの見識も多少なりとも深まったと喜んでいきます。

フィールド：三吉の森(金ヶ作)

定例活動日：第2土曜日、第4月曜日

(高橋三郎)

緑のネットワーク・まつど

定例会のお知らせ

9月9日(土) 17:00~19:00

街づくり交流室テント小屋

(市役所向かいふしハス2階建て)

溜の上レティース&ナイト

竹林はナイトの活躍できれいになり、皆の汗と近所への気配りの成果か、森前の小道のイヌの糞の放置が昨年に比べて激減！また、作業途中にご近所の方がお茶をくださったり、うれしい変化が感じられています。秋には森をめぐる小道を作り、樹木の名札付けもやりたいな・・・どなたでも参加歓迎いたします。

問い合わせ：047-348-7977（渋谷）

教育の森

仮称「教育の森」（市川市）の次回活動日は
第三木曜日の9月21日 10時～14時
会員募集中 現地集合

市民のみなさんのご参加歓迎です。

問い合わせ：047-388-0200（深野）

根っ子の会（根木内歴史公園がター）

ボランティア体験講座を修了し、7月に活動の会を設立。市との協定書を締結しました。

27名のメンバーで第1&3水曜日9～14時に手入れ作業を行っています。

草本や樹木の観察調査を月に1～2回実施し、HPに花情報を掲載しています。

8月22日に「夏休み子どもクラフトづくり」のイベントを近隣の子どもたちと行いました。

10月には博物館の開園記念企画展に参加します。

（三嶋）

ご連絡
ください

会員の皆様へのお願い

緑のネットワーク・まつどでは経費節減のため、この「緑ネット通信」の配布方法を検討しています。郵送からメールにワード文書添付で配信する方法に変更してかまわない方は是非メールにてご連絡ください。（「緑ネット通信のメール配信希望」「氏名」を下記アドレスまでお知らせください）。ご連絡いただきましたら、ご連絡を頂いた旨の返信をいたし、次回よりメールでの配信とさせていただきます。

連絡先 メールアドレス：fwjc1911@mb.infoweb.ne.jp（田中）

ご参加くださいませ

観察学習会・残したい松戸の樹林⑭

「矢切・国府台斜面林と川」

江戸川の流れに北総台地のへりが削られてできた斜面のこんもりした緑・・・

部分的に道路や開発で途切れてはいるものの、細長い緑の回廊となっています。

一番南の端に当たるのが市川市里見公園。今回は南側から斜面の下を松戸に向かって途中興味深い自然の残る旧坂川河口部分の自然も含め、田中利勝さんのご案内で歩きます。

10月8日(日) 9:30～14:00 小雨決行

集合 JR/新京成線 松戸駅 西口デッキ 9:30集合

内容 バスにて国立病院へ。午前は国府台から矢切へ続く斜面林と旧坂川河口の自然を観察
午後は市民活動サポートセンターにて学習会

持ち物 弁当、飲み物、雨具 参加費 300円（保険料/資料代）（会員100円）

お問い合わせ 047-348-7977 渋谷（夜7時以降）

緑ネットワーク通信 No.15

緑のネットワーク・まつど

代表：鈴木 護

連絡先：渋谷孝子 TEL&FAX047-348-7977

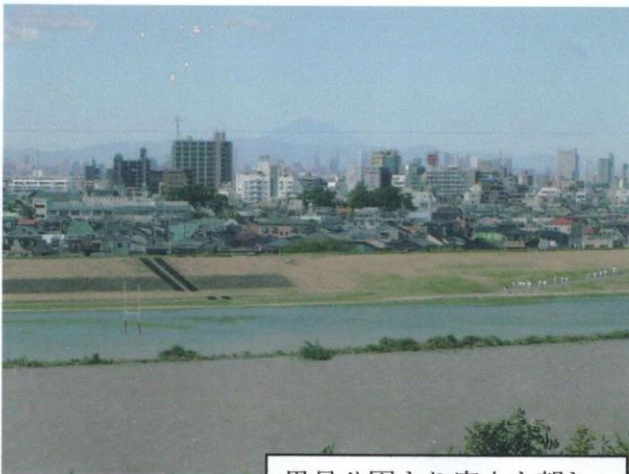
年会費：1000円

10月8日観察学習会 残したい松戸の樹林⑮ 「矢切・国府台斜面林と川」

藤田 隆

朝9時30分松戸駅に集合したのは24人。日なたで待つとまぶしい日の光。手をかざしながらの挨拶も秋が深まったからか。地軸の傾き加減からこの時間では日の光は斜めに差し込む。まぶしさとジリッとした日差しがきつい。9時40分過ぎバスに乗り込み、里見公園への最寄りバス停「国立病院」へ。バスを下車し、われわれ一団を待ち受けていたのは、本日の案内役、講師の田中利勝さんと参加者。これで26人がそろった。里見公園の入り口から市川市標高最高地点へ標高30・1メートル。眼下には総寧寺の墓所。遠く対岸の向こうに富士山がそびえる。江戸川は前々日まで降った大雨が濁流となって河川敷まで溢れている。手前のグラウンドは冠水。対岸では少年野球チームが呆然と川面を眺めている。気のはやる子どもたちはキャッチボールを始めていた。おそらく野球は中止。子どもたちの残念がる表情が目につく「エエツ」といって。

里見公園の中でタブノキとスダジイが合体しか



里見公園より富士を望む
かっている巨木を眺める。タブノキとスダジイの合体した

も合体とは珍しい。公園をぐるりと巻いて川原へ出る。斜面林の途中、藁で作った「辻切り」に出会う。昔なら村の入り口に青面金剛の碑が立つところだが、蛇や大きなわらじの「辻切り」を飾り、村に入る者を驚かせる道具としたようだ。今は、里見公園付近の観光地的要素に合わせての飾り付けではないか。斜面林を下りきって堤防を上がると「旧坂川跡の碑」が立っている。碑文は田中利勝さんが書かれたとのこと。洪水に苦しむ村々



わらで作られた蛇「辻切り」

は水路掘削の請願を繰り返し、32年後ようやく赤塚まで完成するが、期待したほどの効果もなく、さらに栗山までの掘り継ぎを願い出、先の請願から合わせて55年の歳月を経て水路が完成したとある。この水路跡は平成13年、矢切築堤に際して、坂川跡の周辺が保全されビオトープを形成している。アオサギが上流へ向かっている。私たちは体を支えるのさえ、やっとの思いなのに、アオサギの受ける風の抵抗はいかばかりかとアオサギに負けまいと足を運ぶ。

堤防の下は区割りされた家庭菜園にナスビが豊かに実り、坂川では釣り人が糸を垂らす秋の一日、ゆったりした時間が流れている。このあたりの坂川は外来種であるミズヒマワリが跋扈し、10月中



みどり花の遠藤さんに加入してもらいました。スタッフの皆さんも受講生と一緒に楽しんで学ぶことが多かったです。

第1日：「里やまってなんだろう？」第2日：「都市の緑の役割～ 松戸の樹林地は今」オプションツアーで、戸定邸～千葉大～松戸駅。第3日：「森の手入れ体験①」溜の上の森、関さんの森。関さんのお話をじっくり聞きました。第4日：「森の手入れ体験②」囲いやまの森、金ヶ作の森。「お楽しみクラフト体験」もやりました。12月16日（土）には第5日（最終回）：「交流会とまとめ」ふるさと森の会・市川みどり会・かしわ里山の会との意見交換会を予定しています。（三嶋）



緑推進委員会報告

もっと柔らかくいかないものか

第4期の緑推進委員会が、2006年7月にスタートし、これまでに2回の委員会が開催されている。緑ネット関係では、三嶋さん、山下さんが委員を務めており、活発に意見を述べられている。

今期の委員会の最大の仕事は「緑の基本計画」

（平成10年策定）の見直しに関わる提言をすること。とくに計画のうち重点施策について検討するのだけれど、ほとんどの重点施策が遅々として進んでいない状態なので、見直しも頭が痛い。

さて、緑推進委員会とは別に、景観形成検討委員会というのが、昨年11月に設置されている。松戸市が国より景観行政団体の指定を受けるにあたり必要な景観計画について提言を行う委員会だ。

景観形成においても、緑（とくに樹林地）は大切な要素。となれば、基本計画の見直しをする緑推進委員会と密接に連携して議論を進めるのがよからうと、両委員会の運営についてあれこれ提案しているのだが、行政の縦割りに阻まれてこれがなかなかうまくいかない。

緑の保全も景観形成も、広く市民に働きかけて問題意識を持ってもらうこと、行動をうながすことが重要で、委員会の提言ごときで問題の解決が図れるわけではない。聞けば「それは承知している」と行政担当者はいうのだけれど、わかっている動かないのならなお悪い。毎度のことながら、もう少し柔らかくいけないものかと思う。（高橋）

親子体験活動を受け入れて

囲いやま森の会 野口

11月23日、囲いやまの森で、ちばコープ主催、囲いやま森の会の協力による「森の楽校」がおこなわれました。里やまボランティア入門講座の二期修了生を中心に、荒れた森の整備を初めてから1年半。初めての一般参加のイベントで、6家族、16人（子ども8人）が参加しました。主催者側としても、自然の森での行事は初めてのことです。



自己紹介の後、2班に分かれて、アオキが生い茂る森やアズマネザサの藪の中を探検。いろいろな木や生物の棲みか、森の音やにおい、手触りなどを観察しました。

その後は、家族ごとに、藪の中で「隠れ家」づくり。はじめ戸惑っていた子どもたちも、枯枝やシュロの葉などを使って、思い思いの「居場所」

作りを工夫。「子どもの意外な姿を見た」というお父さんの感想もありました。

お昼は手作りのカレーに舌鼓を打ち、午後は「きこり体験」。お父さんや子どもたちは、丸太切りに挑戦、お母さんたちは、森で探したツルや木の実をつかったリース作りに熱中しました。

公園ではない自然の森での初体験に、みんな目を輝かせていました。

…参加者から感想をいただきました…

◎自然にたくさんふれあえ大変楽しい1日でした。

◎隠れ家を作ったりした時、子どもより夢中になり木を切って家作りをしていました。◎自分だけではこの様な体験を子どもにさせてあげられませんが、ありがとうございました。◎森の探検、とくにかくれ家作りいい思い出になると思います。

ご参加くださいませ

観察学習会・残したい松戸の樹林⑮

“みんなで育む森”めぐり ハヶ崎～金ヶ作の 森の中へ

「里やまボランティア入門講座」の終了生が活躍して整備活動をしている森をめぐります。

実際に森の中を案内してもらい、森の特徴や活動について観察/学習しましょう。

1月14日(日) 9:30~14:00 小雨決行

集合 新京成線 常盤平駅 改札口 9:30 集合

内容 ハヶ崎の森～常盤平・囲いやまの森～金が作の森/三吉の森へ。

各森の特徴や活動内容についてボランティアに案内していただきます。お昼は囲いやまの森を予定。

持ち物 弁当、飲み物、雨具、

参加費 300円(保険料/資料代)(会員100円)

お問い合わせ 047-348-7977 渋谷(夜7時以降)

終了後、金が作の森で焚き火を囲んでの新年交流会をいたします。こちら是非ご参加ください。

新年交流会 (参加者も、森のボランティアの皆さんも一緒に交流できるといいですね)

1月14日(日)観察学習会終了後金が作の森で、定例会の代わりに参加者の皆さんも交えて交流会を行います。参加者向けに若干のビールやおつまみは事務局で用意(カンパ程度の有料)しますが、会員は持ち寄りです(差し入れも大歓迎!)。飲み物(アルコールの方は電車で来てね)、おつまみ、お茶、甘いものなど持ち寄って、焚き火を囲んで(網があります。焼き物はできます。素材だけでなく必要なアルミホイルや調味料もお忘れなく)ワイワイとやりたいと思います。どうぞ皆様、ご参加ください。



自己紹介の後、2班に分かれて、アオキが生い茂る森やアズマネザサの藪の中を探検。いろいろな木や生物の棲みか、森の音やにおい、手触りなどを観察しました。

その後は、家族ごとに、藪の中で「隠れ家」づくり。はじめ戸惑っていた子どもたちも、枯枝やシュロの葉などを使って、思い思いの「居場所」

作りを工夫。「子どもの意外な姿を見た」というお父さんの感想もありました。

お昼は手作りのカレーに舌鼓を打ち、午後は「きこり体験」。お父さんや子どもたちは、丸太切りに挑戦、お母さんたちは、森で探したツルや木の実をつかったリース作りに熱中しました。

公園ではない自然の森での初体験に、みんな目を輝かせていました。

…参加者から感想をいただきました…

◎自然にたくさんふれあえ大変楽しい1日でした。

◎隠れ家を作ったりした時、子どもより夢中になり木を切って家作りをしていました。◎自分だけではこのような体験を子どもにさせてあげられませんが、ありがとうございました。◎森の探検、とくにかくれ家作りいい思い出になると思います。

ご参加くださいませ

観察学習会・残したい松戸の樹林⑮

“みんなで育む森”めぐり ハヶ崎～金ヶ作の 森の中へ

「里やまボランティア入門講座」の終了生が活躍して整備活動をしている森をめぐります。

実際に森の中を案内してもらい、森の特徴や活動について観察/学習しましょう。

1月14日(日) 9:30~14:00 小雨決行

集合 新京成線 常盤平駅 改札口 9:30 集合

内容 ハヶ崎の森～常盤平・囲いやまの森～金ヶ作の森/三吉の森へ。

各森の特徴や活動内容についてボランティアに案内して

いただきます。お昼は囲い山の森を予定。

持ち物 弁当、飲み物、雨具、

参加費 300円(保険料/資料代)(会員100円)

お問い合わせ 047-348-7977 渋谷(夜7時以降)

終了後、金ヶ作の森で焚き火を囲んでの新年交流会をいたします。こちら是非ご参加ください。

新年交流会 (参加者も、森のボランティアの皆さんも一緒に交流できるといいですね)

1月14日(日)観察学習会終了後金ヶ作の森で、定例会の代わりに参加者の皆さんも交えて交流会を行います。参加者向けに若干のビールやおつまみは事務局で用意(カンパ程度の有料)しますが、会員は持ち寄りです(差し入れも大歓迎!)。飲み物(アルコールの方は電車に来てね)、おつまみ、お茶、甘いものなど持ち寄って、焚き火を囲んで(網があります。焼き物はできます。素材だけでなく必要なアルミホイルや調味料もお忘れなく)ワイワイとやりたいと思います。どうぞ皆様、ご参加ください。